

ZIZI-YAMA

2014フェイスブック時折日誌



2014/12/23

臨床研究と教育26年
作業療法臨床33年
退官の括りにと
ライフワークとして
ひとこどって作業とはなにかを...
追い求めてきた
『ひとと作業・作業活動』を
書き改めてきた
その著者校正が届いた
新年度には
新版『ひとと作業・作業活動』出版予定
校正の筆をとる
新年度からは
肩書きと所属を外し
一人の作業療法士にもどり
新たな歩み



2014/12/26

学位論文や投稿論文の指導をしていると、文字で思いを伝えることの深さと難しさをあらためて感じる。
『作業療法の詩・ふたたび』にその思いかこぼれたのを思い出した。
(*翌日27日より体調に変調、鬼の霍乱で年末年始はICU。約3週間の治療・療養生活)

ことばのこぼれ
...まっ白い誌面を
敷石のように埋め尽くす
無機質な明朝体
掘り起こし
読み解いて
読み砕いて
やっと無機質な明朝体が
覆い隠していたものが
何だったのかみえてくる
無機質な明朝体は
掘り起こし
解き砕くために
山ほど時間とエネルギーを
わたしの生活から
奪いとる
まっ白い誌面に
ボロボロこぼれた
ことばのこぼれは
自分が本当は文字だったことも
すっかり忘れたかのように
脳の知的閑門も素通りして
すんなりと脳におちこんでる

2014/12/22

一陽來復の冬至
今年は
19年に一度の
月と太陽の復活が重なる
朔旦冬至
...凜としまった
蒼い空
部屋の銀杏も
新しい命が春を待つ



その日の帰路



実と義理
二人の母が認知症で
人生の括りの時を迎えていた
孫3人に
命を繋いだように
今日の友は
偶然に
ベコロスの母の玉手箱と
熊野古道夢酒
輪廻の力が
シンクロしたのかと



2014/12/21

先週末
講義を終えて上京
昨日朝からWFOT 収支会議
午後作業療法士協会理事会
...今日
認知症アクティビティケア認定士研修
クリスマス気分にラストアップされた
若者溢れる竹下通りを抜け原宿駅へ
グランドキリンと中トロ太巻きと共に帰路
高齢化率を高めている団塊の世代には
辛い
ああ、この過酷な日々も
後3か月で自由の身に
フフ
それまでもつかなど
時おり気弱に



2014/12/15

大地が
しばしの眠りに
凍てづく冬
小さな命たちは...
眠る大地に包まれて
そっと静かに
春をまつ
僕たちも
そうしよう
眠る大地に身を委ね
そっと静かに
春をまつことにしよう



2014/12/14

ああ
混沌とした
この時代の行き詰まり、息詰まり
今こそ
夜明けを...
時代の扉を開こう



2014/12/13

今日は
作業療法士協会次年度の事業計画
すべての委員会から計画予定の報告
三役は7時間かけて確認
その後三役会
...なんと
真面目で過酷な会議
知ってか知らずか
すっかり風景になったタワーが
冬晴れの東京を見下ろしている



2014/12/9

梅檀が葉衣を脱ぎ捨て
身(実)一つになり
川面に
マガモが数を増す
...晩秋の最後の彩り
夕陽が染め上げたのか
と思うばかりの茜の紅葉



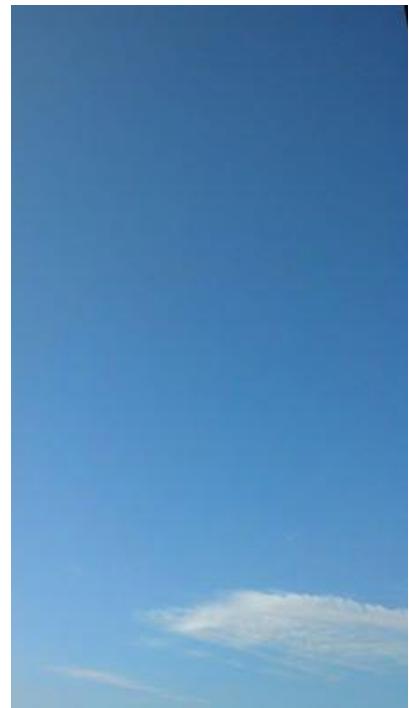
2014/12/5

12月5日
念願のHAYAMA・YAMANE コラボ授業の
後
次の仕事までの空き時間
jazz sport YAMATOYA
1970年からの...
京都の老舗ジャズ喫茶
ZIZI 内緒のジャズシャワー 寛ぎの場
夜は男二人
京都B級グルメ一銭洋食
最後は
ハピールバーで作業療法談義
伴は
山崎
白州
ジムビーム
ザ・マッカラン
....
宇治線がなくなる前にと
木屋町通り下がる
高瀬川沿いを
兄さんとジジが
ありがとう葉山さん
ツァイ Chern



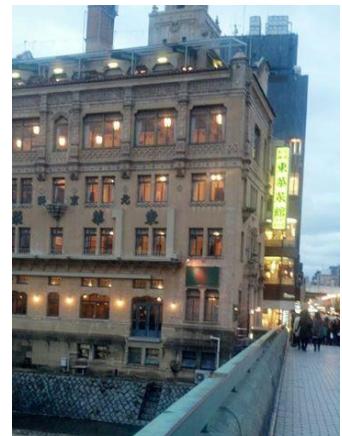
2014/11/28

空を見る
毎日 目覚めの時と
夜明けの時と
夕暮れ時に
空を見る
...時の流れ
季節の移ろい
日々の空模様
空が鏡のように
自分の気持ちを
映し出す
自分を知りたいとき
自分を取り戻したいとき
空を見る
空を見て
ああ、と我に戻ったり
そうだなど納得したり



2014/11/25

いつものように
運動不足の解消に
一駄歩いた
一駄歩いたら...
四条大橋の向こう岸の灯りが
咽の乾きを思い出させた
風邪の微熱で咽が
気がつけば
ハイボールバーの椅子に
仕方ないなあ
マッカラーン12
ジンビームホワイ
いざれも
風邪の微熱を下げるために
ハイボールで
微熱は下がったのか上がったのか



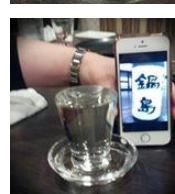
2014/11/25

今年も
研究室の銀杏が紅葉
精神科病棟の院庭に
大きな銀杏の木が二本ある...
作業療法の時間に
入院療養中の人たちと
散歩して拾った銀杏の実
十粒を鉢に植え
七粒が実生で育ち
今年で十六年
毎年春には芽吹き
夏には繁り
秋には色づき
その命の時の流れを
共に生きてきた
さてこの部屋を去る
来春の芽吹きは
どこになるかな
今 静かに
振り返りの時が流れる



2014/11/23

九州理学療法士・作業療法士合同学
会
2014 in 佐賀
障がいと生涯見つめてという
粹なテーマの学会に招かれて
「共生(ともいき)という支援」のお話し
...インフォーマルなナットセッションは
佐賀の作業療法仲間と美味しい酒
日本酒の南限は山口
九州は焼酎の国と思い込んでいたが
鍋島という酒にであった
爽やかな上立ち香
一口含むと
上立ち香とはうって代わって
歌舞伎の変化のように
鮮烈といえる含み香が
発泡性の酒を含んだときのように
口中にひろがる
咽を通りすぎるときには
その香りと味がいっそう際立ち
飲み干した後は
爽やかに
スッキリと消える
北国情の深い酒とはまた違う
凜とした酒
美味すぎて酒に酔い
優しすぎる友に酔い
酔い酔いと
夜が更けた



2014/11/19

急な冷え込みに
急ぎ足で秋が深まり
鴨川沿いは赤や黄色に
彩られ
川面には...
白いユリカモメと
黒いカワウ
マガモたち
冬鳥が舞い集う
暮れなずむ川辺に
スケッチする少女
その筆先には
寝仕度を済ませた
シラサギの群れ



2014/11/15

昨日、午前と午後の講義
自分の臨床の場で行っている
評価実習の学生7人のノート
読んでコメント
...夕方の新幹線で上京
東京タワーの灯りを横目に
チェックイン
今朝は朝から
WFOT 大会2014
報告書ミーティング
午後の作業療法協会理事会を終え
帰路のbefore after
1/2ニチブン野菜Salad bento
吉乃川生原酒ふなしぶり
ふかぐち菊水一番しぶり
ああ、お家に着くのは10時?
思わず
認めたぐない
前期高齢者という言葉がよがる
後6ヶ月で自由になれる
なってやる



2014/11/12

晩秋の
朝露を切って
ユリカモメの先発隊が
鴨川に到着
...京都の冬の風物詩
先発隊のユリカモメ
まだ若い
きっと
今年初めての日本なのだろう
川岸の桜も
紅く色づき
ベンチの席は
紅い葉にとられてしまった



2014/11/10

雨の日曜日
釣瓶落しに日が暮れて
朝ドラの影響?
壽屋白札デザイン復刻版...
と竹鶴17年
ボルサリーノが壊かしがるので
買ってやったら
あのポスターはとせがむので
昭和4年の白札と
大正11年の赤玉ポートワイン
2枚が見つかり
後は酔い酔い
しとしと夜が更ける



2014/11/3

自分にとっては
少し日常が混じっていた
非日常の時間を離れ
雲の波に乗り...
雲海を越え
空から見下ろす
見慣れた大阪の町
出迎えた伊丹空港は
三日前と同じ
手にした
沖縄土産の紙袋が
寒そうに震える



2014/11/3

昨日
沖縄OT 学会開会式で
世界大会お礼の挨拶の時間を頂き
後はフリー
...仲地コングの
運転手兼ガドツアード
神ノ島久高島を歩き
斎場御嶽(セーふあーうたき)から
海上の
神ノ島を見る
仲地ガド推薦の
奥武島のテンプラでしめ
ありがとう沖縄
また会いましょう
沖縄の熱い友よ
明日から
また無休の日常



2014/11/2

高速艇の波しぶきを潜り
神ノ島久高
わずかな人間とネコか住む
アダンの茂みを抜けると
ニライカナイの夢が...
流れ着くという
白浜



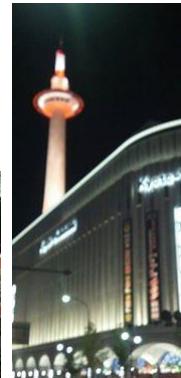
2014/11/2

沖縄で働いている
卒業生に会って
WFOT 大会でお世話になった
皆さんに会って
新しい団子三兄弟もでき
...迷路のような
マチグーを迷い廻り
壺屋焼通りの石畳
コンゲ丸に乗って
釣った魚を肴に
島酒飲んで
フフフ フフフ
顔も身体もゆるむ
今日は学会でお礼の挨拶



2014/10/29

梅檀の実が色づきはじめ
桜の葉も一、二枚
お付き合いに色づき
釣瓶落との日の暮れに
蠟燭をモダンに象ったらしい…
京都のタワーに灯りがともる
でも、なんだかな
なんだかな
中途半端な京の秋
潔くない京の秋
比叡の紅葉も
今年はまだ色づかないで
ZIZI が代わりに
今宵も静かに
エビスピアバーで
色づくとしよう
お相手は琥珀のビア



2014/10/25

高知の帰り
フライと寄り道
大歩危で途中下車
葛橋
手をつなぐ連れもなく…
揺れる吊り橋
碧深い
大歩危峡谷
祖谷ソバたぐって
船下り



2014/10/23

明日一日
特別講義
先ほど高知着
駅前で
龍馬達に迎えられ...
某酒造会社のネオンが誘う
ああ、高知



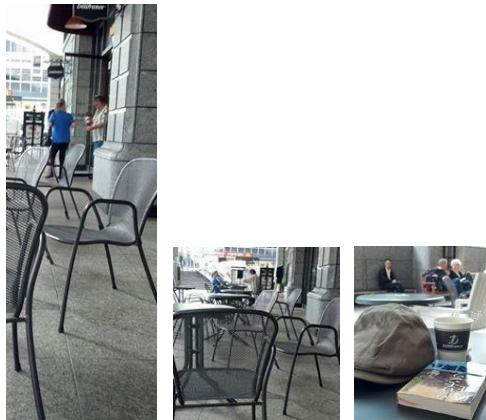
2014/10/20

暮らしのひとこま
自然のうつろいの一瞬を
レンズを通して切りとる
時の流れに身を委ねていると
見落としてしまう...
気がつかない真実が
姿をあらわすことがある
退官の年
自分で自分へのご褒美に
少し奢ってみた
プロの写真家でなくとも
それなりに撮れるのが嬉しい
自分の思いをレンズが
切り取ってくれる
しばらくはまりそう！



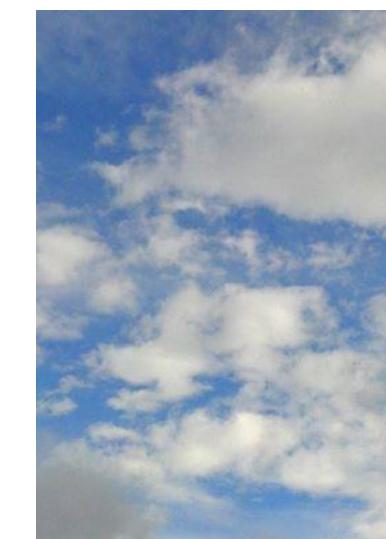
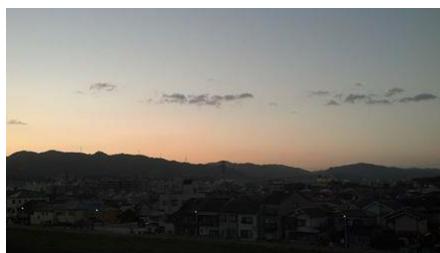
2014/10/15

キリッ
風ひとつなく
蒼い大気が
空から降りてくる
…仕事に向かう早い朝
少し寄り道して
聞いたばかりのカフェで
熱めのカフェオーレ



2014/10/7

昨日は
台風一過
青空が顔をだし
今朝の京都は
炎やかな朝焼け
…何事もなかったかのように
空も川も
風雨の残した傷跡も
ただ静かに



2014/9/22

やあ
無理するなよって
シャドーに話しかけ
見上げると
すっかり晴れた蒼い秋...
筋雲が
のんびりでいいんじゃないの
その横で
ダメよ ダメダメ
ってバッテン雲
筋雲は自然の作品
バッテン雲は
人が操縦した飛行機の跡
やっぱり
雲も
自然の作品の方がいいな



2014/9/28

昨日早朝
のぞみで東京
スーぱーこまち連結の
東北新幹線はやてを駆って一路仙台
...作業療法と音楽
脳・身体・音楽
認知症を生きる人を支える
3つのテーマの講演
夕方仙台から山形に車で移動
今日は山形で
事例を通して学ぶ
記憶を呼び戻したピアノの役割
2つのテーマの講演
そして帰路
山形からつばさ
暮れゆく山並みに
おどなの背中を見せながら
頑張った自分に
米沢牛焼肉どまん中を奢って
定番の黒鳥龍
2日の講演
ZIZI の背中は
何を語ったのだろう



2014/9/22

今日は
メガの学校の先生みたいに
一回生の見学実習引率
終わったあと...
未成年の子どもたちとは
コーヒータイムで
バイバイ
大人は一人正しい反省会
未成年立入禁止の
四条河原町ハイボールバー
祇園の姉さんたちの
名刺代わりの团扇が並ぶ
一杯目は白州ハイボール
二杯目は
復刻版角ハイ
友がいないときの
大人飲み



2014/9/20

日本作業療法士協会
設立50周年を記念して
半世紀の歴史を資料として残す
五十年史編纂委員会
世界大会の残務整理と並行作業...
いずれも委員長
午後は作業療法士協会理事会
朝一新幹線日帰り
終えて帰路
新幹線の座席1E
今日の友は
平泉うにごはんに
pen 米の水 気体め定番黒鳥龍
ソロモンの偽証
(≥▽≤)



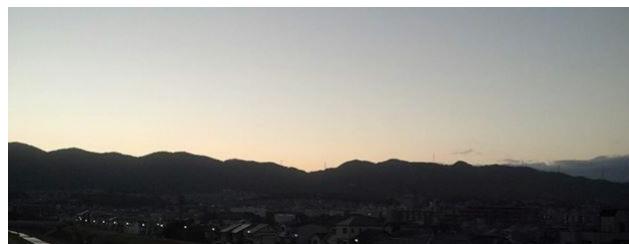
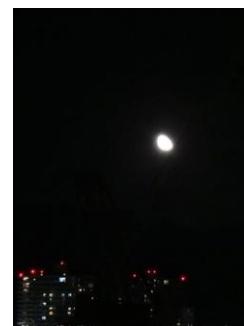
2014/9/17

あの荒れ狂った夏は
ほんとうに行ってしまった
…
のだろうか?
…梅櫻が浅緑の実をつけ
河原に子どもたちの声が
あの夏は
ほんとうに行ってしまったのですね
ススキが風に揺れ
赤い曼珠沙華の花に
秋の陽射しが



2014/9/14

19夜
寝待ちの月をみてやすみ
朝の目覚めは
東雲どき
今日は...
被せ茶をいれてみた



2014/9/11

十数年前
精神科の患者さんたちと
路上観察散歩で出会った
歩道のコンクリートの隙間に
芽をだしていた韭
路傍の韭と名づけて...
日々観察
一昨年の秋
やっと採取できた種が
昨年我が家ベランダで芽吹き
今年は花が咲いた



今年は路傍の韭の親や
兄弟たちは暑さのため
小ぶりで花も咲いてい
ません



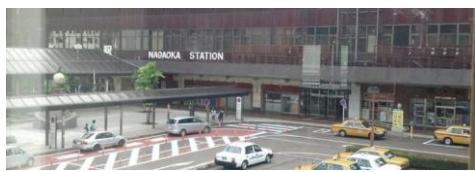
2014/9/8

起床4時半
キリッと澄んだ初秋の朝
ミルクタップリのエスプレッソに
ジャジータイム
いつもの朝の脳活動が始まる



2014/9/6

今日は
新潟県作業療法学会で
昨日夕方長岡入り
よい目覚めで
朝の一仕事をすませて散歩
一時間以上歩いてあるが...
駅前も車道も貸し切り状態
朝8時15分
長岡はまだ
街が眠っているように
静か



2014/9/4

ZIZI 三人目の孫
誕生一ヶ月がたち
ZIZI 宅にやって来た
把握反射もバビンスキーも
可愛い! f(^_^)
ZIZI バカしてます。



2014/8/30

これから岡山へ
一泊二日で2事例の事例検討会
数年前から復活した
セミクローズドの勉強会
グループスーパービジョンに
による
全員参加方式



2014/8/23

新京極通りを
そぞろ下る
ピンクのブタの目配せに
フッと誘われそうになる
誘惑をふりきって下ると...
靖菬師堂
なで薬師は
左手でなでると
すべての病が癒えるという
手かざし薬師は
手をかざせば
すべての苦患が吸いとられる
ありがたい御利益に
思わずはずむお賽錢



2014/8/19

五山の送り火が消えたのに
京都の残暑はいつになく厳しく
といっても
少し日が陰れば...
鴨の河原は二人の世界
川面見つめ腰をおろせば
ただ視野は水の流れだけ
もうその世界を抜けたZIZIは
先斗町をぬけ
川床にも寄らず
一人山崎白州と戯る
キリヒ効いたハイボール



2014/8/16

五山送り火
今年も自宅の書棚の断捨離
約300冊あまり
年に2度...
大学の研究室と自宅の書棚の
断捨離をする
食物を食べ消化し排泄するよう
に
書を読み消化し始末する



2014/8/14

朝、山陰の山里をたち
バスで中国山脈横断
広島に
遅いお昼は
活きあなごめし
安部総理がオバマ大頭領に
酌をしたという特製ゴールド賀茂鶴
そしていつもの無駄な抵抗黒鳥龍
新幹線、近鉄奈良線、京阪本線、
京阪宇治線と乗りついで
晩御飯までには京都の自宅
二泊三日の墓参り帰省が終わる



2014/8/14

二泊三日の墓参り帰省
山陰の山里の朝は
肌寒いぐらい
いつもの目覚めで
コーヒーを入れ...
白みゆく静寂のなか
昨夜も寝る前に
「どこにも行かんよ。ここがええ」
生まれた地で咲き続けるボケの花
京都に連れてゆけば
散ってしまうだろうボケの花
「もう帰るんかね」
の言葉を聞きながら
今日は職場のある
京都に向かう
近くに住む妹夫婦に
手を合わせる



2014/8/12

母が元気だった頃植えた
白い桔梗が今年も咲いた



2014/8/12

昨年の豪雨の爪痕が癒えず
山口線いまだ不通
夏の帰省は
電車とバスを乗り継ぎ
片道8~9時間
二泊三日の小旅行...

日本海の山里の夏は短く
可憐で清楚な花が
短い夏を競うように
いっせいに咲く

91歳母の
ボケの花は年中満開
今年もいっそう咲き誇る
ねえ母さん
ここまで生きてきたんだ
思いつき
咲かせていいよ
ボケの花

でも、少し眠らせてね
ねえ母さん！



2014/8/9

一天にわかにかき曇り
ピカピカッ
バキバキドーン
頭上で尺玉が
幾つも破裂したような雷鳴轟き
雷の子が落ちてきた...

突然、天の底蓋が割れたのか
ザンザンザンのジャジャ漏れ状態
屋久島かバンコクでしか
出会ったことがないような
雷雨がひどしきり
鴨川も一気に水かさが増す

翌日は何事もなかったかのように
ジャージャーと
暑くて服を脱ぎ捨てた
蝉が鳴く
水かさは残るが漏りの消えた
鴨川に比叡の山から
サンショウウオが遊びに来ていた



2014/8/6

本当に
文字通りのZIZI バカ
次男の初めての子ども
呼吸不全で誕生後すぐにNICU
陣痛から22時間
長く産道にいて...
排泄したものを飲み込んで気胸
なんとか一週間で退院
元気に育ってくれますように
ZIZIと孫たちの写真での集合
昊4歳、嶺1歳5ヶ月、丈一週間
いつかみんなで集まれる日を願って



ZIZI 寛



昊



嶺



丈

2014/8/3

初日は青梅
バラリな場の事例研修と
臨床講義
97名5時間

夜から翌日午前中...
奥多摩鳩ノ巣
臨床作業療法検討
16名5時間半

恒例の
臨床作業療法夏期研修
第12回になる

臨床作業療法検討は
深山の谷を見下ろす
温泉宿



2014/7/30

夏空の蒼色が
溶け込んだ水が
さややかと流れる
高瀬川

水辺のカフェで...
一杯のコーヒーと
一冊の文庫本

水の流れか
時の流れか
流れに吾を委ねて
暫し微睡む



2014/7/28

ああ
祇園祭が終わると
京都は
本当の夏が来る

じっとしていると...
背筋を汗がつーっ
體おどしの梅肉添えが
これほど似合う
季節と町はない

ああ
そんな季節だというのに
野や里山は
秋の迎え



2014/7/22

鬼の搅乱から2週間
わずかの手足の関節痛を残し回復

思えば
2014年初めての休日
回復の仕上げにと...
自宅から宇治まで
Dr.Davit Honの作品
愛車のDAHONで
宇治平等院まで
サイクリング

2年におよぶ改修がほぼ終わり
平安面影を伝えて1000年
ただただ
アボケーの時間をすごす

本当にこの二週間
回復への身体の反乱と向き合い
ひとの身体と感覚
脳と身体
作業の力
作業の知を
あらためて確認をした
鳳凰のパワーをもらった
再始動



2014/7/19

鬼の搅乱から
10日の慣らし仕事
朝一の新幹線で
日帰り上京

さすがに稼働率50%...
少し早めに理事会を引かせていただき
施療後
身体の清掃
ゆっくりと体内に入れるすべてを
身体が驚きながら
取り入れるのが分かる

ああ、至福
残る関節の痛みが溶けていくような
なんとも勝手なZIZI のわがまま
ああ、このわがままこそが
健康な回復の兆し

後、10日あまり
また心身の断食をすれば
リニューアルが終わる予感
と妄想のような理由づけ



2014/7/19

いやいや 鬼の搅乱というしか
6年越しの仕事に一区切り
交感神経の張りが緩んだのか
突然の高熱39度...
続いて喉の腫れと痛み
みぞおちの圧迫感と鈍痛
肩や首回りを中心とする全身の関節痛
寝返り不可 飲食不可
4日間身動きできず

熱が下がり微熱になると
関節痛が肩や腰から
手足の関節に移動
左右対象にリウマチ様の腫れと痛み



一昨日より杖歩行可能
回復順調なれどまだ把持困難残

全身の回復活動が
無秩序に起きた現象と思われる
我慢していた我身体が
やっと文句を言えたのだろう
今日は階段昇降が可能になり
チリメンガエルに励まれ
OT 協会へ
朝一の新幹線で日帰り上京
ZIZI 回復順調
鬼の搅乱終焉に



2014/7/15

ネエ
あたしたちって
流行ったよね
少し前まで

そうだったかな...

ほら
もで離されて
いろんなポーズを
とらされて

そうね
みんなどうしているのかしら



2014/7/6

藤原茂兄が教えていた頃
年に一度くらいは手伝え
と言われた縁で
毎年一度
湯田に来る

…
白狐伝説
近年は懶祭
宿泊は喜楽
さすがに温泉地なので
ホテルも温泉がある
なんも怪しい案内
男女温泉大浴場

むむむ
つられて行ってみれば
確かにありました
男女の大浴場

よかったです
これで本当に
男女温泉だったら
宿泊の客層からすれば
ディーサービスの入浴介助風景



2014/7/2

コンチキチン
コンチキチン
七月文月
京の街に
祇園ばやしが
…
なんということはない
鴨川の鴨
そして
川端の草花を
投げ生けにして
研究室に涼を

みなさん
おはようございます(*^~^*)



2014/7/1

最初の母子は
WFOT congress 2014の
事前申し込みが伸びず
申し込みの延長をしていた頃
父さんができたのは
大会2週間前の詰めの頃…

ZIZI は
頭を空っぽしたいとき
いつもの臨床で陶芸の粘土遊び
手と土が
そのどきの気持ち次第でなにかをつくる
なぜそれをつくるのか
作っているときには
考えないし思いもつかない
自分の作業療法

パラレルな場で
共に流れる時間
この豚の親子は
あらなききっかけをつくり
そのどきから
作業療法室の住人になった

こうして
パラレルな場が熟し
人は
ひとときのやすらぎを得て
また現実という大海原に出る



2014/6/28

日常に戻り
平日は
講義、論文指導、臨床
土日は、OT 協会の三役会、理事会、他
会議を終えての帰路の新幹線ご飯
今日は...
初めての友、銀河高原ビールのピルスナーが
馴染みの友達YONA YONA ALE と
そして
社会人一年生の時に
未完のまま出版された
かもめのジョナサン完訳版と
お相手



2014/6/24

WFOT congress 2014が終わり
昨日より
日常のケの日々
山積する仕事の山を
蚕が桑の葉を食むように
ただサクサクと...
サクサクと片づける

鴨川の風景は
何事もなかったかのように
河面を見つめあう若者たちと
涼を求めて
川床で杯を傾ける人たち



2014/6/21

WFOT congress 2014
最終日

昨日の段階で5500名を越えた
今日は学生プログラムがあり
市民公開口座や...
大江健三郎氏の講演がある
6000名を越えるだろう

今日も夜明は穏やか
アジア初！日本発！の世界大会
午後には
この横浜の港から
世界中に
作業療法の仲間たちが
分かちの土産話をたくさん
トランクに積めて旅立つ

波止場に
さよなら、ありがとうの紙吹雪
四年後は南アフリカで
会いましょう



2014/6/19

WFOT congress 2014
横浜入り4日

昨日は喜びの雨
今日は歓喜の晴
ペイエリアに日がのぼる...

ZIZI は体調の調べのために
Morning walk & run
大観覧車の時計は
4:41
ぶかり桟橋

さあ、後3日



2014/5/27

鴨川は川床の季節
陽が落ちはじめる
床の棧敷に灯りがともる
京の街の夏の風物詩
梅雨をしのげば
コンチキチン
祇園囃子が



2014/5/18

伏見は造り酒屋と酒蔵の町
淀の川港は
まだ江戸の色町風情が残る
夕方たまたまできた
時間の隙間
ぶらり歩いて...
油長で利き酒
火入れ前の蒼空愛山
残りの一本を運よく入手
酒に好かれているらしい
世界大会一か月前に
神様にもらった数時間
蒼空愛山と



2014/4/4

病む者にも
幸いにして
病まぬ者にも
春は来る
春が来たことに
気づく頃には...
春は後ろ姿になっている
野や里山や川面に
桜の花びらを敷きつめ



2014/3/19

春
光の風が
ハクモクレンの
白無垢のような花衣に
垂れ桜の紅をさし
もうすぐ里山は
春の衣替



2014/3/13

京都に印象派展
光と水の表現
ただ見いる
何故だか
自分の
身体を...
自覚する
このまま?
いやなんとか
黒ウーロン購入

ああ! 悪あがき
! Σ (X_X;)!



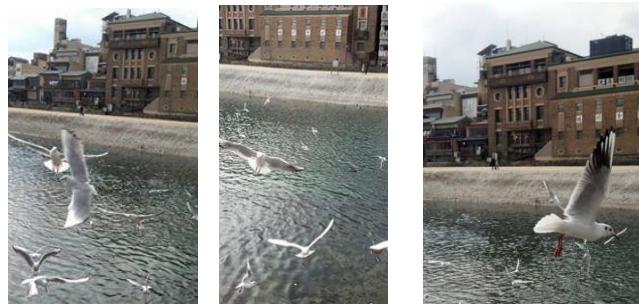
2014/3/5

いつのまにか
ユリカモメが北に帰り
入学試験が終わり
国家試験が終わり
合否の判定を待ちながら
もうすぐ...
学部生の卒業式
院生の学位授与式
桜の蕾はまだ固く閉じているが
鴨川の岸辺の
垂れ柳がほこりび始め
風雪で痛んでいた
冷泉橋の修理が進む
京は春の訪れを待っている



2014/1/29

鴨川の
寒風の川面
ゆりかもめ舞う
学位論文の公聴会が
連日続いている
君達の春は
そこに



2014/1/19

蒼空
しんとした
一点の陰りもなく
蒼いどこまでもただ青い
きりりとした冬の空を見上げる
みあげていると身体の芯が澄んでくる

